



緑峰の窓

北海道富良野緑峰高等学校
学校便り H31/02/01 発行
平成 30 年度 2 月号
題字)園芸 3 年 濱坂優香

校内実績発表大会～園芸科学科～



12月6日(木)、校内実績発表大会が行われました。この大会は各専攻班が1年間のプロジェクトを約 10 分にまとめプレゼンを行う大会です。メロンの二期作と長期保存に取り組んだ施設野菜班、ワイン残渣物を利用したパンづくりを行った食品加工班、オムカレーを活用した地域活性化への活動を行ったカレンジャー班がそれぞれ最優秀賞となり、1月に新十津川農業高校で行われる北北海道大会に参加し、次の全道大会、全国大会を目指して頑張ります！！



《 北北海道大会出場生徒 》

I 施設野菜班	H3 吉田錬磨・井上響輝・H2 宇治孝哉・砂見詩織
II 食品加工班	H3 高橋伊織・清澤香織・三浦由伽・盛永里桜
III カレンジャー娘班	H3 松藤梨花・濱坂優香・H2 中川華乃・成田梨杏
IV クラブ活動班	H2 松尾夢花・丸山ひかる・H1 吉田翔・渡部衿奈

【速報】北北海道大会で全ての班が入賞し、全道大会(1/31～2/1 名寄)への出場を決めています！

課題研究発表会～商業科～

12月7日(金)3年生「課題研究」の授業で商業科研究発表会が開催されました。富良野地域への貢献をテーマに「商品開発」「イベント企画」「新施設の提案」「観光ツアーの提案」など半年間研究し、テーマに対し仮説を設定、検証過程を通じて、チームワークとアイデアを活かし、どれだけ説得力を持ってチームの提案を提示できるかが試されました。今年度は、外国人観光客をターゲットに英語での街頭アンケート実施、高校生お薦めの穴場スポット飲食店へのインタビュー、Google フォームによるネットアンケートを取り入れたアイデアなど、各テーマに対する仮説を検証する試みにも工夫が多く見られる発表会となりました。



冬休み親子工作教室～工業クラブ～

1月11日(金)本校で小学生向け親子工作教室を開催しました。今年は上富良野、中富良野からもご応募いただき、今年も 20 組満席となりました。ありがとうございました。内容は例年と同じく「チョロチューメカ制作」です。初めて講師を担当する生徒は緊張したようですが、経験者のサポートもあり、無事全組完成できました。

2 回目の参加というご家庭もいらっちゃって、活動が根付いてきたかな？と感じています。これを機にものづくりに興味を持って、電気をはじめとする工業の世界に足を踏み入れてくれれば幸いです。



2月の行事予定

1	金	単票提出:3年 3年LHR(④⑤⑥卒業式学年練習)
2	土	
3	日	3級技能士検定(電子機器 組立・学科)(旭川) 全商商業経済検定
4	月	3年家庭学習~27日
5	火	一覧表提出:3年 反省会議①(5分短縮) 工業基礎学力テスト
6	水	校務運営委員会 SPI能力検査(1・2年)
7	木	卒業認定会議
8	金	反省会議② 推薦入学会場設営
9	土	第二級陸上特殊無線技士試験(札幌)
10	日	第一級陸上特殊無線技士試験(札幌)
11	月	建国記念日
12	火	考查一週間前 推薦入学面接日
13	水	ことぶき大学交流学習:電気 身だしなみ指導(~15日)
14	木	農業講演会:園芸
15	金	定例職員会議 卒業追認定会議 3級技能士検定(電子機器組立・実技)
16	土	
17	日	全経簿記能力検定
18	月	スクールカウンセラー来校
19	火	学年末考查①:1・2年
20	水	学年末考查②:1・2年
21	木	学年末考查③:1・2年 20周年記念事業第2回役員会
22	金	学年末考查④:1・2年 学校評議員会
23	土	全経電卓計算能力検定
24	日	
25	月	衛生委員会
26	火	
27	水	単票提出 卒業式式場設営(2年)
28	木	同窓会・農クOB会入会式 卒業式予行

~家庭学習期間へ~

3年生は、2/4(月)から卒業式予行練習日まで家庭学習期間に入ります。

学年団の先生からのメッセージ

この期間、どう過ごすべきか…これまでの私たちの指導や言葉から感じて、充実した生活を送ってください。28日と卒業式に、高校生として恥じない姿・態度で、胸を張って登校してくれることを期待しています。

【連載企画】卒業を目前にして…

2・3月号に渡って、4人の3年生に卒業を目前にして今思うことをインタビューした記事を掲載します。今月は、園芸科学科 清澤百花さん・流通経済科 田代倫也君です。

◇田代倫也君(上富良野中学校出身)

…学校生活の思い出は、部活動(陸上)

“中学からやってはいたが、高校では続けるつもりはなかった。担任が顧問の先生だった影響もあり入部しました。



夏の練習は本当につらかったけど、2年生で国体予選に出場することが出来た。大勢の前で緊張している時に、顧問から割り切って楽しんでやりなさいと言われたことで思いっきり挑戦出来たことが印象に残っています”と話してくれました。田代君は、市内の北海道中央農業共済組合に内定が決まっており、“試験が一般教養と面接で準備が本当に大変だった。(勉強はもちろん)準備は早ければ早い方がいい。時期にならないと早く始める事の必要性は分からないけれど、知識はあるだけ損はないと感じたので、後輩たちにも頑張ってもらいたいです。”と笑顔で話してくれました。

緑峰「写真部の窓」



影

(撮影:園芸1年 池田尚人)

◇清澤百花さん(芦別中学校出身)…清澤さんは、株式会社山崎製パンに内定が決まっています。“母が以前働いていた企業でもあり、業務内容だけではなく福利厚生やサークル活動が充実していることが受験の決め手になった”とのこと。進路活動について、後輩たちに伝えたい事は?と聞くと、“就職試験で身だしなみを整えるのは当たり前だが、日頃からの習慣は大切だと感じた。当日だけと思っても、習慣は大事な時に自然と出てしまうもの。日頃から意識しなければ”と話してくれました。また、緑峰高校への入学は、カレンジャー娘に憧れてとのこと。“実際にカレンジャー娘として活動し、様々な場所でのPR活動を通して富良野オムカレーや緑峰高校について知ってもらえることが出来た。”



また、“部活動(吹奏楽)では、音楽の楽しさを演奏活動を通して改めて実感。局長としてみんなをまとめる大変さはあったがその中にも充実感がありました。緑峰高校は、それぞれが頑張りたいことに挑戦が出来て、応援してくれる環境と先生方のいる学校です。”と自信を持って伝えてくれました。~次回もお楽しみに~